

3. 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会 口頭発表を中心とする分科会参加募集要項

口頭発表を中心とする分科会（以下、「分科会」という。）は、4日に4分科会、5日に5分科会を設定して実施します。参加を希望される分科会をお選びください。次ページからの概要をご参照ください。

1 期間・会場

1<①保全・保護、②担い手育成（学校教育）、③社会貢献（防災）、④ネットワークの意義・活用（地域内のネットワークづくり）>

日 時：令和3年10月4日（月）15:00～17:30

会 場：くにびきメッセ小ホール、多目的ホール、国際会議場、501会議室

2<①保全・保護、②担い手育成（地域住民、※注1）、③社会貢献（ユニバーサルデザイン）、④ネットワークの意義活用（ジオパーク同士のネットワークづくり）、⑤地域振興（ツーリズム、※注1※注2）>

日 時：令和3年10月5日（火）9:30～12:00

（※注1）担い手育成と地域振興（ツーリズム）のみ開始時間9:00～12:00

（※注2）参加対象者はジオパーク運営団体事務局員とさせていただきます。

会場：くにびきメッセ小ホール、多目的ホール、国際会議場、501会議室、601会議室

2 参加登録

大会参加登録（有料）及び各分科会への参加申込みが必要です。

3 申込み方法

大会公式ホームページ上の参加登録フォームからお申し込みください。

参加を希望される分科会をお選びください。第1希望、第2希望、第3希望まで申し込みができます。申し込みは先着順とし、会場定員になり次第締め切りとさせていただきます、第2希望以降に振り分けさせていただきます。申込み期限の8月20日（金）以降に参加いただく分科会をお知らせします。

4 申込み期限

令和3年8月20日（金）17:00まで

5 オンライン参加の場合

Zoom ミーティングを使用し、視聴できます。

オンライン参加者が行う質問の可否、質問等する場合の方法（チャット、音声）、ブレイクアウトルーム使用の有無については、分科会ごとに対応が異なり、今後調整していきます。

6 分科会概要

分科会 1-1

テーマ	保全・保護
タイトル	ジオパークで考える海ゴミ問題
日時	令和3年10月4日（月）15:00～17:30
概要	海ゴミ問題に取り組むジオパーク関係者に、現状の課題や解決への取り組み事例などを紹介してもらい、各関係者および参加者の意見交換や議論から今後の海ゴミ問題への取り組みを共有し、ジオパークプログラムにおける保全活動について考える。
ファシリテーター	兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 川村 教一教授、佐野恭平助教
企画・運営	山陰海岸ジオパーク推進協議会

分科会 1-2

テーマ	担い手育成（学校教育）
タイトル	ジオパークで目指したい教育ってなに？
日時	令和3年10月4日（月）15:00～17:30
概要	ジオパークの教育は単に地形や地質をまなぶことではない。「今、なぜジオパーク？」なのか。社会に求められている子どもたちの教育に、ジオパークはどのように貢献できるのかを議論する。
ファシリテーター	室戸ジオパーク推進協議会事務局
基調提起	芝浦工業大学工学部 谷田川ルミ教授 芝浦工業大学建築学部 栗島英明教授
企画・運営	室戸ジオパーク推進協議会

分科会 1-3

テーマ	社会貢献（防災）
タイトル	ジオパークだからこそできる防災・減災活動
日時	令和3年10月4日（月）15:00～17:30
概要	災害を“自分ごと”として考えられる取り組みを模索する。タスクチームを創設して、全国大会後も分科会での意見等を踏まえながら活動を継続し、最終的な防災・減災活動方針等を取りまとめる。
ファシリテーター	東北学院大学 目代邦康准教授
企画・運営	四国西予ジオパーク推進協議会

分科会 1-4

テーマ	ネットワークの意義・活用（地域内のネットワークづくり）
タイトル	地域内のパートナーシップで何ができるのか
日時	令和3年10月4日（月）15:00～17:30
概要	ジオパーク協議会はトップダウンではなく、地域組織（地元企業含む）や住民と連携しながらボトムアップで取り組んでいく必要がある。そういった連携の事例発表によって、情報共有し、ジオパーク全体のレベルアップに繋げていく。
ファシリテーター	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局他
企画・運営	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

分科会 2-1

テーマ	保全・保護
タイトル	ジオパークでの湿地の価値の評価と保全の実際
日時	令和3年10月5日（火） 9:30～12:00
概要	湿地の多面的な価値の評価方法を共有し、ジオパークプログラムにおける湿地での保全活動、持続可能なツーリズム、教育活動とは何かについて考える。
ファシリテーター	富永紘平（筑波山地域ジオパーク推進協議会） 野口和典（南紀熊野ジオパーク推進協議会）
企画・運営	JGN運営会議保全ワーキンググループ

分科会 2-2

テーマ	担い手育成（地域住民）
タイトル	地域住民との協働
日時	令和3年10月5日（火） 9:00（注）～12:00 （注）開始時間が早いです
概要	どのようにステークホルダーとして地元企業を巻き込んでいくか、地元が潤うシステム作りを地域住民と一緒にどのように考えるかなどの議論を促し、持続可能な地域経済活動とは何かについて考える。
ファシリテーター	和歌山大学教育学部 此松昌彦教授 和歌山大学観光学部 出口竜也教授 山陰海岸GPガイドコーディネーター 今井ひろこ氏
企画・運営	南紀熊野ジオパーク推進協議会

分科会 2-3

テーマ	社会貢献（ユニバーサルデザイン）
タイトル	大自然の驚異に立ち向かう人類～多様なリスク評価ネットワーク～
日時	令和3年10月5日（火） 9:30～12:00
概要	covid-19などの感染症や地球温暖化、自然災害など大小様々な脅威に対して、地域と人の多様性とこれをつなぐネットワーク活動を生かしたリスク回避と克服の可能性と人類の地球での持続可能な生活を、ユニバーサルデザインの観点から議論する。
ファシリテーター	松原典孝（山陰海岸ジオパーク推進協議会）他UDワーキンググループ
企画・運営	JGN運営会議ユニバーサルデザイン（UD）ワーキンググループ

分科会 2-4

テーマ	ネットワークの意義・活用（ジオパーク同士のネットワークづくり）
タイトル	ネットワークによる多様な連携
日時	令和3年10月5日（火） 9:30～12:00
概要	日本国内だけでなく、世界のジオパーク間のネットワークについても取り上げ、事例発表と情報共有を行い、ジオパーク全体のレベルアップに繋げていく。
ファシリテーター	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局他
企画・運営	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

分科会 2-5

テーマ	地域振興（ツーリズム）
タイトル	ジオツーリズムと地域振興
日時	令和3年10月5日（火） 9:00（注）～12:00 （注）開始時間が早いです
概要	ジオツーリズムは、特に地質や景観に焦点をあてた自然エリアに訪れ、ツアー参加者の資源の保全への志向性を高める事業である。それはジオサイト（見学場所）への旅行、ジオ多様性の保全、鑑賞と学習を通じた地球科学への理解を促進させる。しかし、ジオパークでは、ジオサイトを守ることで地域を発展させる仕組みがきちんと構築されているのか？ この分科会では、資源保護と地域経済の成長を両立させ持続的な地域の経済的発展を促進する仕組みや課題について議論する。
ファシリテーター	株式会社ジオ・ラボ 栗原憲一代表取締役社長
参加対象者	ジオパーク運営団体事務局員
企画・運営	Mine秋吉台ジオパーク推進協議会